



公益財団法人 星総合病院

懸虹

新年のご挨拶

- アンジェリーナ・ジョリーさんはなぜ発病前に乳房を切除したか
- 三春病院医療機器リニューアル報告
- 海外研修
- 年越しそば振舞い
- ほしくま絵本コンクール最優秀賞決定
- クリスマスのイベント開催
- 連携医のご紹介



無機と有機 B (F20 1993)
星 一雄

醫

靈

昭和の時代が終わり、新しい元号は「平成」であると発表したシーンを覚えている方もいると思います。当時は誰もが新鮮に感じたその元号も、役目を終える日が決まり今では寂さと次への期待で複雑な心境です。

平成元年の年頭に前理事長から「平成元年は病院にとつて教育元年。職員一人一人が時代に取り残されないよう研鑽を積みこの教育元年を実り多いものにすることを期待する」と挨拶があり、看護部としても「よい看護実践」の定着元年として『看護のみちしるべ』を発刊しました。患者さんの看護を通して、ご家族との触れ合いを通して感じたこと、体験したことを具体的にまとめることで、看護部の理念である「全身で看護する」というよき目と耳と手と配慮の心と、しみ込むような言葉をもって患者及び家族に接するということの広さと深さを改めて追求しました。

あれから30年経過し、社会・医療情勢も大きく様変わりしてきました。しかし時代は変わっても看護の原点は不変であり、さらなる専門性・個性性が求められている今、また『看護のみちしるべX』を発刊します。先人達の今まで培ってきた知的遺産を継承しこれからも地域の方々から親しまれ信頼される病院づくりを行ってまいります。

法人看護部長 結城裕喜子



星ヶ丘病院 病院長 沼田 吉彦

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、当院へのご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

昨年は、病棟の機能再編、病院機能評価の更新等、様々な事業への取り組みを行いました。

本年は、セントラルキッチン の設立、病棟やデイケアの改修等、病院のハード部分の改修に着手し、療養環境、給食部門の質向上、効率化を図るとともに、精神科病院の将来を見つ、長期在院患者の退院促進を進め、地域移行、地域定着支援に力を注いで参ります。

精神科医療を取り巻く環境はますます変化し、今まで以上に地域に密着した取り組みが求められてきます。当院は、今後もお一人おひとりの思いに寄り添い、患者さんがお住まいの地域の中で安心して暮らしていくことができるよう、様々な支援を強化し、最も心身を癒せる精神科病院づくりを目指して参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

三春町立三春病院 病院長 渡辺 直彦



新年あけましておめでとうございます。

いま全国で2次医療圏毎の地域医療構想が議論されています。目的は団塊の世代が75歳の後期高齢者に達する2025年の医療提供体制の構築ですが、県中地区でも調整が続いています。当院も存在をアピールするために、田村郡を中心とした県中地区の医療にどのように貢献できるのかをしっかりと自己評価し、地域における役割を高めていく必要があります。

地域からのニーズとしては、在宅や介護施設からの救急の受け入れや、回復期リハビリを中心とした急性期病院からの受入れなどが考えられます。また、かかりつけ医としての外来部門と訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの在宅診療も必要とされています。これらはこれまで行ってきたことではありますが、在宅医療の増加に伴って、今後は益々の充実が求められています。このような地域の期待に応えるために、地域医療の重要な一員としての自覚を持って三春病院を支援して頂くことを職員の皆様をお願いいたします。

本年も、宜しくお願い申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 森 慶秋

さて新しい年ですが、我ながら長生きしたものです。またこの一年を生きられるかと思うと有り難く感じております。

オリオンでは、地域包括ケアシステムの構築とし、医療機関と自宅との中間施設を担う介護老人保健施設の目的として「在宅復帰」を積極的に支援しております。

そのような意味では、利用者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう、利用者の選択に応じて「小規模多機能型居宅介護施設」がありますが、介護老人保健施設はそれを更に大きくした複合的サービス事業所として「大規模多機能型居宅介護施設」と呼んでも良いのではないかと考えています。

在宅復帰支援は、増える高齢者の自宅で過ごされたいという思いを大事にし、私もせめて残り少ない寿命を大切に、毎日を元気に施設利用者や職員と楽しく過ごすことが願いです。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星光 一郎



新春のお慶びを申し上げます。

6年に一度の介護報酬、障がい者支援費、医療報酬のトリプル改定がこの4月から実施されます。この原稿を書いている時点では、上げる下げるの論点整理と予算配分の作業が進められていることでしょう。メリハリといいながらどうなるのか心配は尽きません。

報酬改定的一方には、生活困窮者の負の連鎖、子育てや教育費の問題、ゴミ屋敷や引き籠りやうつ症状、DVや触法者、自殺者等、介護・福祉・医療からこぼれ落ちてしまう解決すべき課題がたくさんあります。国の政策にも、地域包括ケア・我がごと丸ごと、1億人総活躍社会、人生100年時代等のキャッチーな言葉が躍ります。

本来の事業は勿論のこと、社会福祉法人・公益財団法人として地域貢献が義務化されている私達の活動も今後益々重要になってくるものと思います。おらがまちのおらが施設、おらが病院のまちづくりの原点であるといえるでしょう。社会福祉法人として、地域と住民の明るい未来のためにできることを精一杯考え実行していく年にしたいと考えておりますので、ご指導、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

わかりやすい
遺伝医療の
お話

アンジェリーナ・ジョリーさんは



赤間 孝典 (あかまよしのり)
星総合病院
遺伝カウンセリング科
認定遺伝カウンセラー

2005年より看護師として医療に従事

2011年 信州大学医学部大学院遺伝カウンセリングコース修了(医科学修士)後、星総合病院に勤務

2013年より遺伝カウンセラー業務開始

がん、小児、周産期、神経など様々な領域の遺伝学的検査に関わる遺伝カウンセリングの専門職。

2017年11月 一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会副理事

2013年、ハリウッド女優・映画監督などの経歴を持つアンジェリーナ・ジョリーさんが世界に向けてあるメッセージを発信しましたが、まだまだゲノム(遺伝子)医療に馴染みの無かった日本では「珍しい病気だから注目された」「お金持ちにしかできない医療」というくらいの反応でした。

彼女のお母さんは卵巣がんでお亡くなりになり(56歳)、お母さんの妹は乳がんでお亡くなりになり(61歳)、お母さんのお母さんは卵巣がんでお亡くなりになっています。遺伝子検査の結果、彼女はBRCA1遺伝子の変化(がんになりやすい)を受け継いでいることが分かり、まだがんを発症してない乳房を切除(その後卵巣も切除)。2013年ニューヨークタイムズ紙に「マイ・メディカル・チョイス(私の医療選択)」という手記を

寄稿、その反響は「アンジェリーナ効果」とタイム誌の表紙を飾り世界的なニュースとなりました。

「自分の現実を知り、私は積極的に対処して可能な限りリスクを減らそうと思いました。予防のため乳房切除の決断をすることは簡単ではありませんでしたが、これで私たちの子どもに、乳がんによって私が亡くなることを恐れる必要はないと言ってもらえるのです」

「私が自分の治療について隠さないことにしたのは、がんの危険が迫っていることを知らない女性が世界中にたくさんいると思ったからです。遺伝子検査をしてがんのリスクが高い場合には、医療的選択肢があることを知ってもらいたかった」(訳したのち一部抜粋)

彼女のような遺伝子の変化を持つ方は、30歳代前半でがんを

町立
三春病院

医療機器が新しくなりました

★ 耳鼻科外来検査診療機器 ★

ネブライザー



お薬を霧状にして、直接気管支に届ける吸入器です。エアフィルターが内蔵され、吸入の残り時間をランプで表示するなど、安心してお使いいただけます。

顕微鏡



照明を当てて、約3~17倍に拡大して観察することができ、鼓膜の観察や切開など、細かい処置に使用されます。観察部分の調整がスムーズになり、患者さんの負担がより少なく耳の観察や処置ができるようになりました。

なぜ 発病前に乳房を切除したか

発症する可能性があります。彼女自身、30歳代で6人の子どもの持つ母親、世界的知名度があり社会的役割と大きな責任を負った決断。血縁者を次々に看取ってきた彼女は、自分も病気になるかもしれないという恐怖と子ども達を残して死ねないという両方の気持ちを抱いていたことでしょう。

このようながんの遺伝病は、子育てや仕事など社会的に大きな役割を果たしている世代が直面するという特徴があり、元気で忙しく活躍している時期に突然突きつけられるものだからこそ、自分自身でも信じられず周囲からも理解されにくいという問題があります。彼女の身に起こったことは決して珍しいことではなく、200人から400人を集めると1人はこの遺伝子変化があるといわれ、遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)と呼ばれています。

欧米では、2015年頃から患者個々の遺伝子(ゲノム)に沿った医療提供に力を入れはじめ、現在では世界各国に広がっています。病気によって「最良」の医療が提供される時代から、個人の遺伝子によって「最適」な医療が提供される時代へとすでに変化しているのです。



Clavis Arcus (クラヴィスアルクス) 創刊号
クラヴィスアルクス：遺伝性乳がん・卵巣がん当事者会

より質の高い医療提供を続けていくため、町立三春病院では様々な医療機器を新規に更新しました。今後も地域の皆様の要望に応え、医療・看護の充実を図るために一層の努力をして参ります。



耳鼻科内視鏡システム



約3~4mmの細いスコープを鼻腔から喉頭に挿入し、出血部位の確認や副鼻腔炎の状況、鼻粘膜の腫れの確認など肉眼では見えない部位の観察を行います。

以前の機器より細く高画質になり診察や指導の必要に応じて、モニター画像や写真、飲み込む様子を撮影した動画を見て頂くこともできます。

新しくなった医療機器等の情報はまた次号ご紹介いたします。

第33回 海外研修 in Northern Europe

勤続10年の職員と研修医を対象に、世界的な視野を持った医療人として見識を高めること、将来組織人として活躍するため必要な知識・専門性の向上を図ることを目的に毎年開催しています。

日程：平成29年11月25日～12月1日

参加者：公益財団法人 星総合病院 職員 15名

視察国：フィンランド・スウェーデン

参加者は半年以上前から視察国・施設(内容)を自分たちで検討、日本との違いや視察国の現状について事前研修をしました。

11/26 フィンランド ヘルシンキ市内視察

ヘルシンキ大聖堂やウスペンスキー寺院を訪問しました。夜は全員でフィンランド名物のトナカイ料理やミートボールに舌鼓を打ちました！



11/27 施設視察

フィンランドの児童施設であるネウボラ『ISO OMENA NEUVORA』を視察しました。妊娠期から子供の就学まで家族を切れ目なく支援する施設であり自治体が運営し主に保健師がヘルスケアを行います。見学後は大型客船「タリク・シリヤライン」でスウェーデンへ！



ネウボラ：フィンランド語でneuvo=アドバイス、la=場所という意味。妊娠から出産、子どもが生まれた後も基本的には6歳まで切れ目なくサポートする総合的な支援サービス。

11/28 施設視察

スウェーデンのストックホルムへ到着！300名ほどの医師が在籍し、遠隔医療を運営する『KRY』という企業を訪問、スマートフォンを用いた診察のデモンストレーションの見学などを行いました。遠隔医療は通院に時間がかかっていたスウェーデンにおいて革新的であり、利用者数も年々増加しているようです。

その後『NACKA GERIATRIK』という老人病院へ移動し、スウェーデンの終末期医療の現状を聞き、病棟を見学しました。スウェーデンの死生観に基づいて職種間の深い連携のもと、各々の患者さんへ適切な医療が提供されていました。



11/29 スウェーデン スtockホルム市内視察

自由行動でみな思い思いに過ごしました。グスタフ・アドルフ広場やヨーロッパ最古のスウェーデン国立美術館で歴史や文化に触れ、運河ポートからストックホルムの街並みや緑あふれる美しい景色を眺めました。すべてが大変美しく、感動的でした。

夜はノーベル賞の晩さん会のディナーが食べられる「STADSHUSKALLAREN」へ。初めて食べるトナカイのハムや熊のソーセージに驚きつつ美味しいクリスマスビュッフェを堪能し、最後の夜を全員で楽しみました。



年越しそば振舞い

12月31日、星総合病院と三春病院で入院されている方や付き添う方へ年越しそばを振舞いました。入院中であっても大晦日の気分を味わっていただきたいと20年ほど前から毎年続けています。「おそばが食べられると思わなかった」「美味しかった」と好評でした。



応募総数
80作品

最優秀賞決定

第4回 ほしくま絵本コンクール授賞式

12月8日、第4回ほしくま絵本コンクール授賞式が行われ、星北斗理事長から最優秀賞の野口わき子さん（東京都）へ表彰状と賞金50万円が授与されました。野口さんから「東日本大震災の後、東北の為に何かできないか考えていました。この作品で福島の子も達が笑顔になってくれたら嬉しいです。」とお言葉をいただきました。受賞作品『どんぐりもりは いきてるよ』は1,000部製本し、郡山市や三春町の保育施設、医療機関、図書館などに寄贈する予定です。



最優秀賞
(賞金50万円)
絵本製本

『どんぐりもりは いきてるよ』 野口 わき子 (東京都)

『メラク みーつけた』 ひらお ふみほ (静岡県)

佳作
(賞金3万円)

『ほしくまとクリスマス之夜』 柳下 ミキ (茨城県)

『ほしくまとおひさま』 平良 ゆう (沖縄県)



三春町敬老園



星総合病院

各施設にて クリスマスのイベントを 開催しました



星ヶ丘保育園



三春病院



オリオン



星ヶ丘病院



ほしのご保育園



三春町第1保育所

桜井産婦人科医院



- 所在地 〒963-8014
福島県郡山市虎丸町 23-18
024-932-1637
<http://www.sakurai-cl.net/>
- 診療時間 9:00～11:40
(土曜日再診のみ)
13:30～17:10
(木・土午後休診)
- 管理者 桜井 秀



さくらい しげる
桜井 秀 院長

あなたにとってのオンリーワン

「ああ、こんな先生にだったら相談してみたいなあ。」

桜井産婦人科3代目院長の桜井秀先生の第一印象でした。真っすぐに向けられる優しい眼差し、何を質問しても否定ではなく「そうですか。」と答えられてから柔らかな言葉が続いていきます。暖かい言葉に心が軽くなっていきます。

「先生が目指されている医療とは何でしょう。」その問いに間髪入れずに答えられたのが「あなたにとってのオンリーワン」でした。「祖父と父が残してくれたものを守りつつ、自分に出来ることをしていきます。患者さんにとってオンリーワンであることを目指したいです。」先生の魅力は一代で築かれたものではなく、代々この地で女性の健康を守って来られた結晶のようでした。先生の笑顔には人を包み込むやさしさがあふれていました。

立ち入りお断りの本当の意味

玄関の表示「男性、立ち入り原則お断り」の意味をお尋ねしてみました。「女性の心と体にだけ生じ得る様々な相談が混在している外来です。一人で来られる方や誰にも会いたくない方もいます。コンビニ感覚で受診していただきたいのですが、そこから先は真剣な戦いが始まるのです。」

桜井産婦人科では10年前からセミオープンシステム（出産は総合病院などへ紹介）を採用しています。「自分がこの施設で出産を再開する！とわがままを言ったら、結果として患者さんやスタッフにも迷惑をかけることになるでしょう。出産は大切な命を生み出す作業です。十分な設備とスタッフが整った環境のもとで行うべきだと思います。」きっぱりと言われたその言葉に先生の信念を感じることができました。



桜井産婦人科から未来に発信する

今後の取り組みについてお話いただきました。

「今、年齢的に受診の空白期間になりやすい思春期の女性外来などを行っており、診療の合間には、中学校などで性の健康教育をしています（郡山医師会 リ・プロダクティブヘルスアンドライツプロジェクトチームの活動として）。女性の性被害を無くすためにも、男性加害者を減らす取り組みをしたいと思います。知識があれば防げることや、女性に優しく接し、守ってあげる必要性も知ってほしいです。その中では人生には逃げ道があることも伝えていきます。また、育児に関しては画一的な専門書に頼らない『その子供に合った親のあり方』が必要だと思います。育児には明確な答えがないことを知っていただきたいです。病院もクリニックも時代の流れに応じて臨機応変に変化していくべき。そして自らも、10年後も20年後も地域のために努力していきたいです。」

取材後記

「人生には逃げ道がある」の言葉に感銘を受け、「産婦人科の先生方は女性の強い味方だった。」と再確認できた取材でした。

(佐藤)

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行／公益財団法人星総合病院
編集／法人広報部
発行日／平成30年1月
住所／〒963-8501
郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7
TEL 024-952-6411
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升崎50番地の1
TEL 0247-62-3131
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-956-2322

サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)

TEL 024-962-1711

サテライトしずか

〒963-0209 福島県郡山市御前南5丁目18番地
クエストパークB棟102号
TEL 024-983-6410

サテライト三春(三春病院内)

TEL 0247-73-8270

介護老人保健施設オリエオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字紫三天2
TEL 024-952-6413

芳賀・小原田地域包括支援センター

〒963-8822 福島県郡山市昭和2丁目21-3
ダイサンクリニックビル1階
TEL 024-941-1121

星総合病院在宅介護支援センター

(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-983-5515

●居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)

TEL 024-952-6414

●養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升崎50番地の1
TEL 0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010

●ほしのご保育園

〒963-8501 福島県向河原町159番1号
TEL 024-983-5519

●星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7-3
TEL 024-951-0788

●三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769 福島県田村郡三春町担崎1丁目4番地の1
TEL 0247-62-3839